

茨城空港アクセス道路と 6号バイパスを利活用した まちづくり特別委員会 会議録

令和7年3月5日(水)午後2時45分
小美玉市役所 3階 議会委員会室

小 美 玉 市 議 会

茨城空港アクセス道路と 6 号バイパスを利活用した まちづくり特別委員会

令和7年3月5日(水) 午後2時45分
小美玉市役所 3 階 議会委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

(1) 委員会の今後の進め方について

① 要望書等のとりまとめ

(2) 視察研修(見学)について

(3) その他

4 閉 会

出席委員（９名）

１番	鬼田岳哉君	８番	長津智之君
９番	島田清一郎君（副委員長）	１０番	鈴木俊一君（委員長）
１２番	長島幸男君（議長）	１５番	岩本好夫君
１６番	福島ヤヨヒ君	１７番	大槻良明君
１９番	市村文男君	２０番	荒川一秀君

欠席委員（１名） １１番 村田春樹君

議会事務局職員出席者

書 記 菅 澤 富美江

午後 2時45分 開会

○副委員長（島田清一郎君） 皆さんおそろいようですので、ただいまから茨城空港アクセス道路と6号バイパスを利活用したまちづくり特別委員会を開会いたします。

最初に、委員長挨拶、鈴木委員長、お願いいたします。

○委員長（鈴木俊一君） 本会議終了後のお疲れのところご参集いただきまして、ありがとうございます。本委員会でございますが、今回で3回目の委員会となります。その間、地域未来投資促進法などについて、県の担当者を招きまして、全体研修を行ってまいりました。そのような中で、今後どのように進めていくのか、改めて本日協議をお願いしたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

○副委員長（島田清一郎君） ありがとうございます。

それでは議事に入ります。

議事の進行は鈴木委員長にお願いいたします。

○委員長（鈴木俊一君） それでは、ただいまの出席委員は9名であります。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。まず、今後のこの委員会の進め方について、今回、スケジュール案の方を作成しましたので、確認いただきながら進めたいと思います。項目は大きく分けて2つ、お話し合いできたらいいと思っていますが、1点目が、要望書等の取りまとめについてでございます。これまで委員会設置以降、現状について、執行部から現状説明を受けた中で、県からの情報も委員会で情報共有をして、さらに県の職員を招いて全体研修を行ってきました。これまでの委員会での意見では、現状は法的な規制があるのは理解できる。いろいろな提案を行政にしたい。報告書の提出に向けての見学や視察など、委員会として、何ができるか考えるべきであろう。また、6号バイパスの完成により、利便性は良くなるが、できたことによる住民の声を把握することも大事だと考える。という意見がこの委員会の中でございました。そのような中で当委員会として、要望書というか報告書を取りまとめることについて協議したいと思います。要望書を取りまとめて提出するというのを1つのゴールというか、終着点と考えておりますが、どのようにお考えでしょうか。

〔「いいですよ」の声あり〕

○委員長（鈴木俊一君） それでは、最終的に委員会として要望書を提出できるよう、取りまとめていきたいと思います。スケジュール案ですが、資料1をご覧ください。現在3回目の特別委員会で、一応、4年間あるわけですがけれども、提出時期として1つ考えているのが、

今年の12月、または来年の3月辺りを考えていますが、どうでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ声あり〕

岩本委員。

○15番（岩本好夫君） 視察研修を終えての要望書でしょ。

○委員長（鈴木俊一君） はい、そうです。

○15番（岩本好夫君） 視察研修してから、それはいつに出すかは、12月でも3月でも結構なんだけど。まず、視察研修どういうところを視察研修するかとかが大事じゃないのかな。

○委員長（鈴木俊一君） では、提出時期より先に、先ほど言いました2番目の項目が視察研修でございます。過去の委員会では要望書提出に向けて見学などについて、実施しようという意見が出ていましたが、視察研修の方、どうでしょうか。

○15番（岩本好夫君） 要望書は具体的にどんな要望するかを決めないと、その要望に対する視察研修をするんでしょ。どんな要望書だと漠然としすぎだから。

○委員長（鈴木俊一君） このアクセス道路と6号バイパスをここを作っていくときに、それを活用して、最終的にはこの前全体研修でやったような、工業団地のようなものを、小美玉市のこの周辺に、要望できたらっていうふうに考えております。

○20番（荒川一秀君） そうすると、アクセス道路と6号バイパスの交差点付近というようにある程度限定されるわけだよな。道路の利便性がなければ、工業団地だって開発できないもんな。そういうふうにした方がいんだよな。

○19番（市村文男君） まずは、一番肝心なのはどこを通るかですね。そういうのが判別しないうちは、どこへっていう話にならないと思うけれども、6号バイパスと、今のアクセス道路の接点周辺は、市庁舎だろうと思うんですよ。その周辺っていうか、平たんな場所へは、当然これ、企業誘致だろうと思うんですが、あれだけの道路ができていても、なかなかそういう企業が来ない。さっきの一般質問や、そういう中での話では、テクノパークが終わってからっていうような、そういう話もありましたよね。だから、企業がどれだけ、この地域に、興味を持ってくるのかということも大事なことだろうと思いますし、いろいろそういう誘致活動が大変だろうと思いますけど、ところでここへは執行部は来ないんですか。

○委員長（鈴木俊一君） どこか進展があれば思っと呼ぼうと思ったんですが、進展がないということで、出席はなしです。

○20番（荒川一秀君） 要望先はどこに要望する予定なの。

○委員長（鈴木俊一君） 市でございます。市が県にしないと、未来法は使えないということ

です。

○19番（市村文男君） この委員会を強く要望したのは議長なんだよね。議長の要望でできた委員会というふうに私は認識しているんだけど、これ議長はどういう考えなんですか。

○議長（長島幸男君） アクセス道路沿いですか。ここに企業誘致というか、これ担当部署と、連絡を緻密にして、いろんな情報を取り入れて、この委員会でも審議してというような形なんです。今の委員長の話だとまだ具体的には、ないというような状況なんです。これアクセス道路走ってる向こうバイパスって、6号バイパスもそうなんです。まだ図面上ではこないだ石岡市と石岡市議会とあと小美玉とかすみがうらと要望に行ったんですが、まだ具体的にはここっていうことは、示されてないので、どこで交差点するか、交差点も平面交差だか何だかそこら辺も私は詳しくは聞いてはいないんですよ。ですから、とりあえずアクセス道路沿いを中心にとということで委員長とも前にお話ししたのは、そういうことで、6号バイパスの話が進んでくれば、そちらの方もということなんで。今んとこを、はっきりそういう企業誘致、ただテクノパークで、今工事やっているのは、流通倉庫っていうのかな。これが神栖市の運送業で港運送、鹿行地区で2番目に大きな運送会社なんですよ。これが今、倉庫建設を2丁歩ぐらいの面積の中で、今工事中。これは、カルビーの会社で委託されて、サツマイモとかイモ類関係の倉庫ということで聞いてるんです。参考的なお話ですが。企業誘致という話の中でね。ですから、今お話したように、アクセス道路は私も、そういう企業誘致の具体的なあれはちょっと聞いてないんですがね。

○15番（岩本好夫君） その要望書はわかるんだけど、そうすると、企業誘致で工業団地の話をしているんだけど。私、商工会のほうでやっているんで、例えば、そういったアクセス道路ができると、まちの中心地から抜けて通るんだよね。今、6号沿いには、いろんな商業施設、特に商工業は、道路があるから、経営が成り立っている。なくなれば閑散としちゃうんだよね。他でもバイパスができたところを見ると大体そうでしょ。そしたら、議会として、そういったところの声も酌み取ってあげて、市や県や国に要望することも大事なんじゃないのかなということをつもりでいるんだけど。新たに工業団地を誘致しようとかは当然わかるけど、例えば、既存にある飲食店なんかは、混んでいるから入ってくれるわけだしね。それが全く通らなくなると、閑散としてしまうと、そういう人たちはこれ利便性のために我慢してくれよっていうことではないと思うんだよね。だから、その方達の要望や声が聞ければ、そういったことも、要望書の中に織り込んで出してあげれば、市議会として、やっぱり住民の声を汲み取れる議会としてできるんじゃないかと思うんだけど。工業団地って

言ったって漠然としすぎてるでしょ。アクセス道路と6号のどこが交差するんだかもわからなくて、そこに企業誘致しようと言ったって、はるか先の話で、おそらく20年後だよ、6号バイパスなんか。だとしたら、20年後の企業誘致をここで要望するのも大事かもしれないけど、もっと地に足をつけて、既存の住民や商工業をやってる人とか、そういった声も、聞いてあげるのが市議会の役目かなと思うんだけど。漠然としすぎてるでしょ。アクセス道路はできてるけど、6号はどこ通るのって、具体的にどこで交差するのって。そこに企業誘致を要望するって20年後のことを市議会に言ったところで、どうなのかと思うんだけど、もうちょっと具体的に、目先の方でやった方がいいような気がするよ。

○20番（荒川一秀君） もちろん、結局今、小美玉の住民とか商工業者、経理営利にかかってくることだけれども、しかし、6号バイパスの趣旨は、混雑緩和っていうことだからな。それと、どういうふうにしてマッチングさせていくかっていうことだよ。だって、6号はこっちで決められないからな。

○19番（市村文男君） さっき要望ってありましたから、私は要望したいですよ。6号バイパスの作り方。高くなったり低くなることは、そういうところは、地理的な条件で仕方がないとは思いますが、できれば、集落の幹線道路とか、中郷だった1-10、11号。それから上馬場だったら、玉里に行く道路。そういうふうにあるわけですけども、できれば平面交差点で、バイパスを作っていただければ、地域の発展も、あろうかと思うんですよ。上を通り抜けていく、下を通り抜けていく、そういうことじゃなくて、平面交差であれば、いろんな意味で、活用ができるのではないかな。茨城町は4車線化ですから、従来の道路が4車線化になるわけですから、大丈夫だろうと思いますが、私はそういう要望をしたいと思います。

○委員長（鈴木俊一君） 平面交差を要望するっていう方向ですね。

○8番（長津智之君） この特別委員会は、さっき市村議員が言ったように、アクセス道路はほぼ羽鳥までできたと思いますから、これはいいと思うんですけど、6号バイパスを、そのアクセス道路と6号バイパスを利活用したまちづくりの特別委員会なんですよ。だから、6号バイパスできないと利活用ができないと思うんですよ。俺も20年、30年かかると思うんですけども。

○議長（長島幸男君） 先月、今言った、かすみがうら、石岡、小美玉、茨城町と、国交省その他、いくつか省を回って陳情してきたんですが、私も書類をいただいています、細かくあれしてないんで、それらの担当部署とよく協議して、皆さんに今の状況を説明受けた状況をよくわかるようにして、今お話があったように6号バイパスはまだまだ先なんです、こ

れに基づいて、先ほど市村議員の方からお話したその前の段階として、地元の方については、こういうふうに要望というか、先ほど出ましたように平面交差にしてほしいとか、現在ではそれしかないと思うんですよね。ここができてないですから、何十年先なるから。

○15番（岩本好夫君） 何か漠然とし過ぎてて、であればね、将来、6号バイパスができるでしょうということで、既存でアクセス道路はできているわけだから。そうすると、近隣じゃなくても、自治体の中で、バイパスができて、混雑緩和になったけど、それで、要するにそういうところに視察に行って、こういうところは良くなったと、こういうふうにして企業誘致が成功しましたよとか、あと、こういった商工業者がちょっと困ってしまいました。そういう生の声を聞いて、これから先に小美玉市にできるだろうバイパスを考えてそれでこういうまちづくりを提言しましょうっていう要望じゃないの。企業誘致とか先走った話じゃなくて、まず6号バイパスができてその実態がどうだったか、何ヶ所か視察研修に行って、例えばある自治体では、こういうところで企業誘致で成功しましたよと。失敗した例もあるかもしれない。あるいは、商業施設が本当に困ったとか、今こういうところに事実上自治体が困っているんだったりとか、こういう問題抱えてるんだって、そういう現にそのバイパスができたところどっか、正副委員長と事務局でもね調べて、そういうところをまず見に行ってから、こういう要望しましょうじゃないのかな。ここで企業誘致とか、テクノパークの話をしたって、20年も先に出る通りだから、ただ、それを見据えてこういうまちづくりを提言しますっていう要望ぐらいしかできないと思うんだけど。

○19番（市村文男君） 岩本議員に賛成。

○副委員長（島田清一郎君） そうなんですよ、岩本さんの言う通りで、やっぱり私たちがそこに工業団地を配置させろっていう言い方をすると、そこに地権者もいるし、いろんな問題が出てくるんです。先進事例を見てきて、いいところ悪いところ、こういう事例だからこれから都市計画をやるときは気をつけてくださいねっていう、そういう提言ですよ。そういう形を、私たちもみんなで集まって話をしているんで、何かの結果を出したい気もあるんです。

○15番（岩本好夫君） 要はそういう自治体があるんだから、まず、できたところで先進的なところを視察研修して、やっぱりそっからだよな。

○20番（荒川一秀君） 足元からやろうよ。あんまりでかい構想まで言ったって、相手もあることだし。

○8番（長津智之君） 成功例と失敗例がきっとあると思うよ。

○15番（岩本好夫君） あると思うよ。

○ 8 番（長津智之君） 要望を出すのはいいでしょうよ。

○ 1 9 番（市村文男君） それで今日の結論だ。

○ 2 0 番（荒川一秀君） 視察研修のところは、正副に任せるよ。調べてくださいよ。

〔「任せる」「一任する」と呼ぶ声あり〕

○ 1 5 番（岩本好夫君） 時期も場所も任せるよ。

○副委員長（島田清一郎君） あと、先進事例として、基地と共用の空港があって、そこが新しく道路を引っ張り込んで、その町並みがどうなったか。私たちの将来はああなったらいいのは取り入れて、悪いのはやめようっていう、そういう見方でよろしいですかね。

〔「いいと思う」と呼ぶ声あり〕

○委員長（鈴木俊一君） では、バイパスができてどうなったかということを、よい例と悪い例を調査して、やってみます。それでは、視察時期や視察場所については、正副委員長と事務局で、相談したいと思います。次に、その他に入りたいと思います。その他に何かございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ声あり〕

○委員長（鈴木俊一君） ないようですので、本日の協議を終了したいと思います。

副委員長と交代いたします。

○副委員長（島田清一郎君） 以上をもちまして、茨城空港アクセス道路と 6 号バイパスを活用したまちづくり特別委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。

午後 3 時 1 0 分 閉会